

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年							2025年														
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	11月 ～9日	11月 ～16日	11月 ～23日	11月 ～30日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	21	7	5	3 (5)	7
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	39	12	9	8 (12)	11
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	6	2	1	1 (2)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	10	2	2	2	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	1	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第48週(11月24日～11月30日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	2				1	2	1
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					1		1
四類	2	レジオネラ症	2	2						
五類	24	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1		1
		梅毒	2		1					1
		百日咳	18	4	4			7		3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年48週(11月24日～11月30日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり42.23人の報告があり、多い状況が続いています。県内では、11月27日に「インフルエンザ警報」が発令されました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告は58件と増加が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

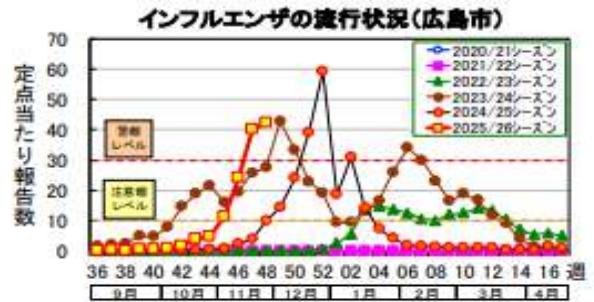
迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第48週 A型:412人、B型:1人

2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

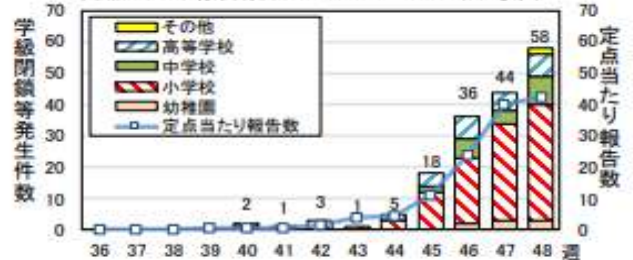
定点当たり4.00人の報告があり、増加しています。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感、莓舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 マイコプラズマ肺炎

定点当たり4.50人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。



インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等発生件数と 定点当たり報告数(2025/26シーズン・広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	3092	88.34			小児科	突発性発しん	2	0.09	0.16	
	インフルエンザ	1478	42.23	7.51			ヘルパンギーナ	2	0.09	0.32	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	15	0.43				流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	12	0.55	0.13		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	6	0.27	1.14			流行性角結膜炎	10	1.25	0.43	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	88	4.00	1.47		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	110	5.00	4.18			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	4	0.18	0.11			マイコプラズマ肺炎	27	4.50	0.97	
	手足口病	4	0.18	1.07			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	8	0.36	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	105	90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	30	20歳代・O血清群不明
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	10	80歳代
5	侵袭性肺炎球菌感染症	1	26	60歳代
5	百日咳	7	1020	10歳未満・2人、10歳代・2人、20歳代・2人、30歳代・1人